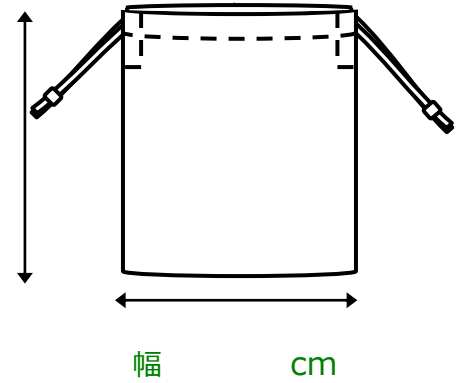


# 裏地付きの巾着 マチなし・ひも両側

- ひもの通し口は、片側・両側どちらでも出来る巾着の作り方。
- 布を縦長に裁ち、半分に折り返すので、柄に天地がある場合には中心ではぎ合わせる必要があります。

作りたい巾着の寸法を記入



裏布を裁つ際に、横を計算式通り、縦はわにして5mm程引いた寸法で裁つと、内側のもたつきを抑えられます。

$$\begin{matrix} \text{幅} & \text{cm} & \times 2 & & \text{ひもの長さ} \\ \downarrow & & & & \\ \text{cm} & + & 20\text{cm} & = & \text{cm} \end{matrix}$$

※ひもの長さは用途によって調整する。ひもを片側にする場合は1本、両側の時は2本用意。

## 柄に上下がある布の計算 表布・裏布 各2枚

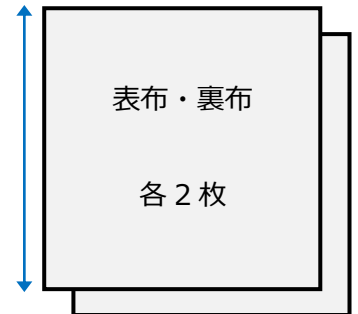
布を2枚裁断し、縫代1cmで縫い合わせます。柄の向きに注意してください。

横の寸法

$$\text{幅} \text{ cm} + \text{縫代 } 3\text{cm} = \text{横} \text{ cm}$$

縦の寸法

$$\text{高さ} \text{ cm} + \text{縫代 } 4\text{cm} = \text{縦} \text{ cm}$$



## 柄に向きがない布の計算 わにして裁つ 表布・裏布 各1枚 (裏袋はこの裁ち方を推奨)

「わ」とは布を中表に畳んだ際の折山の部分です。

横の寸法

$$\text{幅} \text{ cm} + \text{縫代 } 3\text{cm} = \text{横} \text{ cm}$$

$$\text{高さ} \text{ cm} + \text{縫代 } 3\text{cm} = \text{縦} \text{ cm}$$

$$\text{縦} \text{ cm} \times 2 = \text{縦} \text{ cm}$$

